

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	人権地域フォーラム開催事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系			根拠法令計画など	人権教育および人権啓発の推進に関する法律	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 4 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		人権			
施策	1	人権の尊重			
基本事業	1	人権行政の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び板野郡5町住民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	フォーラムを通して、一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権が尊重される社会の実現に向けて「共に学び、共に考える」人権尊重のまちづくりを目的として開催する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		参加人数	210	230	240	250	250	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決を図り、差別のないまちづくりを推進するためには、広域的な教育・啓発を図る必要があるため、鳴門市と板野郡5町の共催で開催し、地域に根ざした人権啓発の在り方を共に学び共に考えるため、パネルディスカッション形式で人権問題研修会を実施した。 日時 平成25年8月9日(金)13:30～16:30 場所 うずしお会館					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 アンケートへの回答数	191	154	240	250	250	枚
	2 アンケート調査に参加いただき、フォーラムの内容について理解できた・ほぼ理解できたと答えた構成比	94.8	95.5	100	100	100	%
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	参加人数	254	252	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		109.6	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	298	251	291	291	291	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	152	232	230	230		230
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	146	19	61	61		61
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,108	1,108	1,108	1,108	1,108	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		1,406	1,359	1,359	1,359	1,359	千円	

【事務事業名：人権地域フォーラム開催事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	2014年8月8日(金)、13時30分から、うずしお会館において、「ひとごと」から「わがこと」へをキーワードに、パネルディスカッション形式で、パネリストや当日参加者からの意見を聞きながら、一人ひとりの人権意識を磨く「語り合いの学習」を開催する。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	同和問題への関心が薄れつつある現状で、同和・人権問題への関心を深めていくためにも本事業は必要である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 人権の尊重 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市内外から多数の参加者があり、お互いに意見を述べ合う「語り合いの学習」が実現されており、差別のないまちづくりという事業目標の達成に有効である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	なお一層、鳴門市民が「出会いの場」「交流の場」に参加いただき、他者とつながっていてもらえるよう努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/> ⑥		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市の人権啓発主要行事として定着し、毎回、市内外から多くの参加者が人権問題について「共に学び共に考える」機会となっている。課題として、より多くの市民が、人権に関する正しい理解と認識を深める機会となるよう参加を促すための周知広報を強化していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				